

2月臨時議会の概要

物価高騰の影響を受ける市民や事業所への支援実施に係る 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)などを可決

2月臨時議会を2月3日に開催しました。まず、市長から「令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)」など2件の議案が提出され、提案説明の後、提出議案に対する質疑を行い、各委員会に付託して議案の審査を行いました。その後、本会議が再開され、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、4名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案2件はいずれも可決しました。最後に、2月19日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

予算決算委員会

予算の審査は、分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。
詳細は動画(YouTube)をご覧ください。

議案第1号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

物価高騰の影響による市民や事業所などの負担を軽減

総務分科会



2月3日

○物価高騰対応家計応援金給付費 10億180万円

給付金額が、ひとり5,000円となった経緯、また給付金額によって必要な事務経費はどうかとの質疑に対して、全体の予算の中のバランス、他市の動向から5,000円となった。また、事務経費は、給付金額の違いによって、ほぼ変わらないとの答弁があった。

地域福祉分科会



2月3日

○物価高騰対策高齢者施設等運営支援事業費 9,167万円

○物価高騰対策障害福祉サービス事業所等運営支援事業費 4,103万円

オンラインでの申請を考えているかとの質疑に対して、オンラインでの申請は考えておらず、紙での申請を考えている。課題点を確認し、今後に向けて検討するとの答弁があった。

産業建設分科会



2月3日

○鈴鹿市プレミアム付商品券発行事業費 3億9,000万円

デジタル商品券ではなく紙の商品券を選択したのはなぜかとの質疑に対して、物価高騰による市民の負担軽減を図るため、デジタルデバイスを使える方のみが利用できるデジタル商品券ではなく、より多くの方が利用できる紙の商品券を選択したとの答弁があった。